

施政方針

2026(令和8)年度

2月27日、令和8年第2回豊岡市議会定例会で、門間市長が2026(令和8)年度の本市のまちづくりと市政運営にあたる基本的な考え方を表明しました。

なお、施政方針を含む市長総括説明の全文は、市ホームページをご覧ください。



3月議会定例会開会日に来年度の施政方針を説明する門間市長

多彩な魅力が結び合う「豊岡の価値」

合併から20年。本市は、コウノトリの野生復帰をはじめとする自然との共生、芸術文化観光専門職大学の開学や豊岡演劇祭、おんぶの祭典、永楽館歌舞伎など文化芸術による「まちの活性化」、さらには温泉や豊かな自然など、他地域にはない強みを数多く有しています。これら多彩な魅力が互いに結びつき、独自の価値を形作ってきました。

課題を力に。市民と共に描く「新しい豊岡」

直面する課題は多岐にわたります。少子高齢化や人口減少、その背景にある若年層の流出や出生数の減少。これらに伴う地域経済の縮小や産業の担い手不足、地域コミュニティの希薄化といった切実な問題に加え、猛暑や大雪など気候変動への対応も急務です。私はこれらの状況を嘆くだけでなく「新しい豊岡」を創る機会と考えています。

人口減少を逆にとり、一人一人の声が市政により届きやすい、多様な市民との共創のまちづくりに挑戦していきます。次の世代につながる地域の姿を、市民の皆さんと一緒に描いていきたいと思っています。

行動を成果へ、誇りと魅力が息づく「挑戦の年」に

市長就任以来「出張市長室」やタウンミーティング、学校現場や放課後児童クラブへの訪問な

ど、市民の皆さんや現場の生の声に耳を傾け、施策に思いを巡らせてきました。また、数々の施策において、検討や実施が可能な取組みについて、速やかに行動に移してきました。

2026年度は「誇りと魅力が息づくよおか」の実現に向けた、新たなスタートとなる重要な一年です。これらの取組みを、より体系的・戦略的な施策へと昇華させ、豊岡の新たな可能性を切り拓く「挑戦の年」として全力を尽くします。

五つの柱で創る豊岡の未来

地域の経済をより強くしていくことは急務です。地場産業の成長、観光や文化芸術の価値を活かした好循環、脱炭素やデジタル技術への挑戦。こうした動きを地域全体で循環させ「ここで働きたい」と思える環境を広げます。地域経済が元気になれば、暮らしの安心感が高まり、子育て世代をはじめとする定住・移住の促進につながります。

同時に、市民生活の土台である子育て、教育、医療、福祉、防災、交通といった分野に丁寧に向き合い、地域コミュニティのつながりを大切にする環境を育むことが重要であると認識しています。

こうした考えのもと、私は「子育て」「経済」「安心安全」「集い」「学び」の五つを市政推進の柱に据え、分野横断的な取組みを進めていきます。

※市の各部署の「問合せ」「申込み先」は、4月1日以降の新しい課名を記載しています。

2026年度 当初予算案

ファイブ プラス ワン

創生 5 + 1 新しく起動する

一般会計は517億5,000万円、1.1%の増

次の6つを基本姿勢として、2026年度の当初予算を編成しました。

- 1 子育てに優しいまちづくり
 - 2 経済が活性化するまちづくり
 - 3 安心安全なまちづくり
 - 4 みんなで集えるまちづくり
 - 5 整備された「学び」のあるまちづくり
- プラスワン
+1 ともに未来をつくる行政経営



予算編成において、特に力を入れたのは「子育て」と「経済」です。

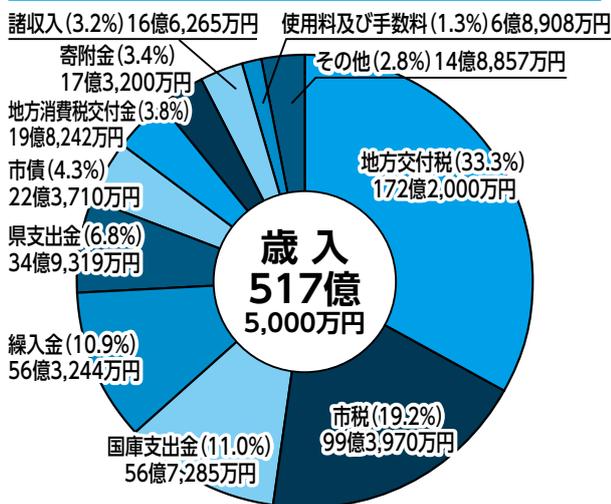
『子育てに優しいまちづくり』では、子どもの医療費助成の拡充や、保育所等の保育料(月額)の引き下げ改定を実施するとともに、新たに小学校給食費の無償化等を予算計上しました。

『経済が活性化するまちづくり』では、環境省の「第7回脱炭素先行地域」に採択されたことを受け、脱炭素先行地域推進事業費として1億8,256万円を新たに予算計上しました。

また、地域解決型予算として、道路水路等区内環境改良事業について対象施設や用途を拡大し、1,200万円増額しました。

《問合せ》財政課 ☎21-9014

歳入の内訳

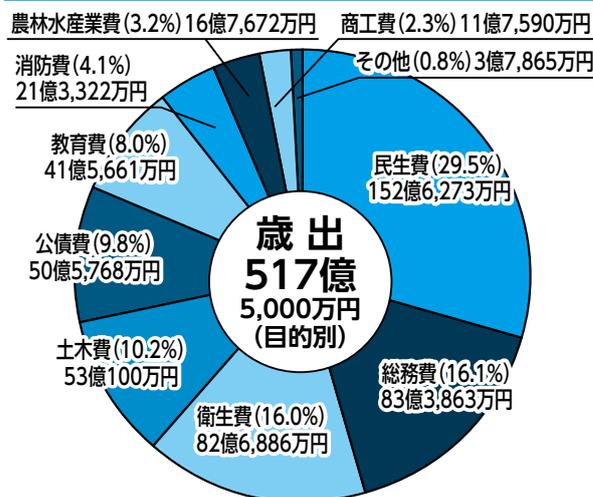


地方交付税は、1億8,000万円(1.0%)の減、市税は、固定資産税等の収納率の増を見込んで2億円(2.2%)の増収としました。繰入金は、公立豊岡病院組合への財政支援等に充てるため27億1,101万円(92.8%)の増、市債は、大規模事業の減少等により18億6,030万円(45.4%)の減としました。

また、市政推進のため必要不可欠な事業予算を計上しましたが、歳出に見合う財源が不足したため、財政調整基金から17億円を取り崩し、収支均衡を図っています。

※本紙に掲載している情報は編集時点(3月13日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

歳出の内訳



民生費は、障害者(児)自立支援給付事業費等の増加により8,791万円(0.6%)の増、衛生費は、公立豊岡病院組合への新規貸付金や旧清掃施設管理費等の増加により27億4,286万円(49.6%)の増としました。

一方、総務費は、本庁舎、竹野庁舎および日高庁舎改修工事完了に伴う庁舎管理費等の減額により4億8,044万円(5.4%)の減、教育費は、竹野学園の整備工事完了に伴う小中一貫校整備事業費等の減額により11億1,582万円(21.2%)の減としました。

全会計の当初予算総額は869億7,277万円、0.4%の減

一般会計のほか、特定の事業を行うために目的別に設けた8つの特別会計および2つの企業会計の予算額を合わせ、全会計の総額は869億7,277万円、前年度予算と比較して0.4%の減としました。

会計	2026年度	2025年度	差額	前年比
一般会計	517億5,000万円	511億8,000万円	5億7,000万円	1.1%
特別会計	209億4,725万円	208億205万円	1億4,520万円	0.7%
国民健康保険(事業勘定)	84億8,876万円	86億1,634万円	△1億2,758万円	△1.5%
国民健康保険(直診勘定)	8,584万円	8,104万円	480万円	5.9%
後期高齢者医療	16億8,269万円	15億4,233万円	1億4,036万円	9.1%
介護保険	102億9,956万円	101億5,031万円	1億4,925万円	1.5%
診療所	2億7,693万円	2億9,412万円	△1,719万円	△5.8%
霊苑	890万円	833万円	57万円	6.8%
太陽光発電	1億281万円	1億771万円	△490万円	△4.5%
管理会	176万円	187万円	△11万円	△5.9%
企業会計	142億7,552万円	153億8,212万円	△11億660万円	△7.2%
水道	42億9,902万円	43億3,799万円	△3,897万円	△0.9%
下水道	99億7,650万円	110億4,413万円	△10億6,763万円	△9.7%
合計	869億7,277万円	873億6,417万円	△3億9,140万円	△0.4%

特別会計は209億4,725万円、0.7%の増

事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する特別会計8会計の総額は209億4,725万円です。

介護保険事業特別会計における保険給付費の増額等により1億4,520万円(0.7%)の増としました。

企業会計は142億7,552万円、7.2%の減

独立採算による特定の事業を経理する企業会計2会計の総額は142億7,552万円です。

下水道事業会計の建設改良費の減額等により、11億660万円(7.2%)の減としました。

基金(預金)の残高

会計	残高
財政調整基金	27億803万円
特定目的基金	155億6,112万円
定額運用基金	11億3,417万円
特別会計分	15億303万円
総額	209億635万円

市民1人当たり28万円

市債(借金)の残高

会計	残高
一般会計	325億3,052万円
特別会計	4,389万円
企業会計	421億4,374万円
総額	747億1,815万円

市民1人当たり102万円

※市民1人当たりの額は人口73,608人(2026年1月末住基人口)で算出

主要事業の概要

1 子育てに優しいまちづくり

拡 子どもの医療費助成の拡充 4,000万円

これまで「中学3年生まで」としていた外来診療の助成対象を「18歳以下の高校生等年代まで」に拡大します。また、1歳から小学3年生までの医療費助成の所得制限を設けない措置についても、継続して適用します。

新 小学校給食費の無償化 1億8,925万円

国の「学校給食費の抜本的な負担軽減制度」が創設されたことを受け、市立小学校の給食費を無償化します。これにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちの健やかな成長を支援します。



子育て世帯を力強く支援。市立小学校の給食費無償化で、心も体も健やかな成長を後押しします

拡 保育所等保育料の軽減 5,485万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育料を国基準から全体で約55%軽減します。これにより、保育所等利用者の約9割の世帯の保育料がこれまでの概ね半額となります。



保育所・認定こども園の保育料(月額)を引き下げ「子育てに優しいまち」を実現します

継 特定不妊治療の治療費、交通費助成

新 1,129万円

特定不妊治療(生殖補助医療・先進医療)費の自己負担額を軽減するため、治療1クールの治療費の1/2を助成します。また、通院に概ね60分以上の移動を要する場合は、交通費の助成を行います。

2 経済が活性化するまちづくり

新 空飛ぶクルマの実装に向けた取組み

274万円

産業の発展と、社会課題の解決が期待される空飛ぶクルマについて、市内での空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組みを推進します。取組みを通じて、豊岡市がより「訪れたい」「住みたい」「働きたい」憧れのまちになるよう目指します。



次世代モビリティ「空飛ぶクルマ」の社会実装に挑みます(出典:経済産業省ウェブサイト)

新 稼ぐ力強化総合支援事業 5,464万円

中小企業が収益力と生産性(稼ぐ力)を高める過程を「土台作り」「戦略立案」「競争力強化」「成長加速」と捉え、成長段階にある中小企業を各過程において支援します。

新 中小企業奨学金返済支援事業 225万円

2024年4月に県の奨学金返済支援制度の拡充が行われており、この制度による効果をさらに押し上げ、市内企業への就職・定着に結び付けるため、県制度を活用する市内企業に対して市が上乘せ補助を行います。

2026年度 豊岡市の新規・拡大事業など

主要事業の概要(つづき)

新 脱炭素先行地域推進事業 1億8,255万円

環境省の「第7回脱炭素先行地域」の採択を受けたことから「神鍋高原ゆきみらい100年宣言」など、気候変動に対して行動を起こしている日高神鍋エリアを対象に、2030年度までの集中的な施策展開を図り、脱炭素をきっかけに地域の観光再生と経済活性化を目指します。

3 安心安全なまちづくり

新 公立豊岡病院組合への財政支援

19億1,350万円

公立豊岡病院組合は、近年の物価・人件費の高騰等により、極めて厳しい経営状況に直面しています。そのため、公立豊岡病院組合から構成市(豊岡市、朝来市)に対して、25億円(豊岡市19億1,350万円、朝来市5億8,650万円)の財政支援を求められており、緊急措置として貸付という形で財政支援を行います。

**新 有害鳥獣駆除対策(クマ対策、狩猟スクール、
継 鹿肉活用)** 632万円

有害鳥獣捕獲を担う若手狩猟者の育成や、捕獲されたシカのジビエ等への利活用促進、クマを人里に寄せ付けないための不要果樹伐採等に取り組めます。



不要果樹を伐採し、クマを寄せ付けない環境づくりによって、地域の安全を守ります

拡 地域解決型予算(道路水路等区内環境改良事業の拡大) 3,400万円

地区からの要望に迅速に対応するため、各振興局長等の権限で執行できる事業を、道路水路等の小規模な補修の他、一部公園にも用途を拡大します。本庁及び各振興局にそれぞれ200万円を増額します。

新 訪問介護事業所への支援策 150万円

遠隔地(竹野・但東地域等)に住む市民が訪問介護サービスを利用した場合に、サービスを提供した事業所に対し、移動に伴う経費(人件費及びガソリン代)の一部を補助します。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護体制の維持・充実を図ります※生成AIにより生成

新 地域公共交通キャッシュレス決済導入支援事業 992万円

路線バス及び市街地循環バス「コバス」に、JRと互換性のある交通系 IC カードが利用できるキャッシュレス決済システム「バス ICOCA システム」を導入し、誰もが利用しやすい公共交通環境を整備します。

新 豊岡消防署日高分署の改修事業 561万円

豊岡市公共施設個別施設計画において、長寿命化を図る施設として位置付けている日高分署の改修を行い、老朽化が進んでいる建物の耐久性を改善し、持続可能な消防サービスを提供します。

4 みんなで集えるまちづくり

継 文化会館の整備 1億6,697万円

2026年1月に策定した「豊岡市民会館リニューアル基本計画」に基づき基本設計に着手するとともに、総合体育館南側隣接地の整地工事及びリニューアルオープン後を見据えた広報活動等を実施します。

継 城崎温泉交流センターの整備 3,926万円

城崎地域の公共施設を集約するため「城崎温泉交流センター」を「城崎文芸館」と「城崎麦わら細工伝承館」の機能を統合した複合施設へと建て替えます。2026年度は建替えの実施設計を行います。

継 竹野観光トイレ改修工事 1,100万円

インバウンド及び多様な世代の観光対策を図るため、中央観光トイレの洋式化、LED化等の改修工事を行います。

新 道の駅「神鍋高原」事業 800万円

道の駅「神鍋高原」の指定管理者である日高振興公社を主体に、地域ブランドの展開と施設の機能強化を進めます。

継 出石永楽館歌舞伎開催事業 9,737万円

歌舞伎俳優・片岡愛之助さんらの出演により、上方歌舞伎の公演を行うことで、市の魅力や知名度の向上を図ります。また、来館者が市内観光を楽しみ、地域経済の活性化を推進します。



歌舞伎の粋が街に舞い降りる。片岡愛之助さんらを迎え、活気に沸くひとときです

新 但東シルク温泉やまびこ長寿命化改修工事 1億3,350万円

シルク温泉やまびこの温泉設備機械や温泉館内の修繕等長寿命化改修工事を行います。

5 整備された「学び」のあるまちづくり

新 社会教育・生涯学習人材バンク～まなびあいネット～の運営 91万円

「豊岡市社会教育基本計画」の基本理念である「学びや活動による『自分づくり・生きがいつくり・つながりづくり・まちづくり』を進めるため、多様な人材を市民から発掘し、市民一人一人の知識や経験を活かし、世代・地域を越えて学び合えるしくみを構築します。

継 学習用タブレット端末の更新 2億406万円

時代のニーズに応じたICT環境の整備を図り、学校現場におけるICTの積極的な活用を推進するため、2020年度に購入した小学校・義務教育学校で使用する学習用タブレット端末を更新します。



時代のニーズに応える学びのツール。新しい端末が、子どもたちの探究心を支えます

プラスワン +1 とともに未来をつくる行政経営

継 ふるさと応援寄附金の推進 8億5,000万円

ふるさと納税の推進により自主財源の確保を図るとともに、本市のPR及び特産品等の返礼を通じ、市内経済の活性化を図ります。

新 但東地域の課題解決を目指す「但東 × プロジェクト」: キオスク端末整備 573万円

但東地域内にはコンビニがないため、住民が休日や夜間に住民票等の証明書を取得することが困難であり「手数料 200 円」という負担軽減措置を享受できないことが課題となっているため、但東地域の主要な商業施設にキオスク端末を設置します。



証明書の取得について、土曜日・日曜日、夜間等も利用可能な環境を整備します